



写真：海老沼明

遺構ニ勉強会
2026年
2/8 (日)

建物をのこすということ ～事例から熊小を考える～

日時：2026年2月8日(日)14:00～16:00 (受付13:30～)

／会場が変わりました！ご注意ください！／

場所：学び舎ゆめの森 (大熊町大字大川原字南平2019番1)

オンライン参加可 (メールにて参加URL送付)

参加：無料、要申込み

当日参加も歓迎ですが、人数確認のため、QRコードより
参加回答の協力をお願いします



後藤 治 さん

(工学院大学総合研究所教授)

1960年東京都生まれ。博士(工学)、一級建築士。専門は日本建築史、歴史的建造物の保存修復。

1984年、東京大学工学部建築学科卒業。88年同大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程中退し、同年文化庁文化財保護部建造物課文部技官。95年同調査官。99年工学院大学工学部建築都市デザイン学科助教授、2005年同教授、11年学校法人工学院大学常務理事、17年～2024年12月同理事長。2024年12月より現職(総合研究所教授は2018年から)。

大熊町の間蔵施設内にたたずむ旧熊町小学校の遺構の保存・活用に向けて、全国各地の建造物保存や、災禍を伝える遺構などの事例について学びます。

今回のゲストは後藤治さん(工学院大学 総合研究所 教授)です。各地の建築物や学校校舎の保存・活用の事例、また、費用面を抑えた建築物の保存方法等についてご紹介いただきます！

参加者の皆さんからも、建築物保存に関わるお悩みや質問を受け付ける予定です。ぜひ、お越しください！

主催

おおくまふるさと塾、一般社団法人大熊未来塾、
福島大学地域未来デザインセンター

後援

大熊町、大熊町教育委員会

協力

東北大学都市デザイン研究室

問合せ

大熊未来塾 (担当：義岡)
✉ okuma.future@gmail.com
☎ 080-1472-3763

※本事業は、3.11メモリアルネットワーク基金助成事業、Civic Force「NPOパートナー協働事業」として実施します。